**Alternative Library Manual**

**0.1**

目　次

[1. サポートするランタイムライブラリ 1](#_Toc212523604)

[2. プリプロセッサの定義 3](#_Toc212523605)

[1. Static,DLL共通 3](#_Toc212523606)

[2. DLL 3](#_Toc212523607)

[3. DirectX 4](#_Toc212523608)

[3. サポート 4](#_Toc212523609)

[4. ライブラリの使い方 5](#_Toc212523610)

[1. altBase 5](#_Toc212523611)

[2. altMemManager 5](#_Toc212523612)

# サポートするランタイムライブラリ

サポートするランタイムライブラリは「マルチスレッド デバック(/MTd)」または「マルチスレッド(/MT)」のみです。

図 1　マルチスレッド デバック(/MTd)

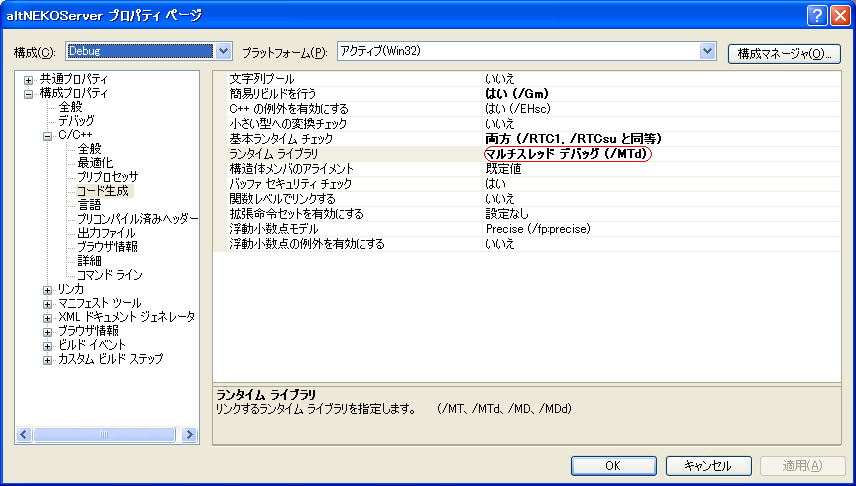
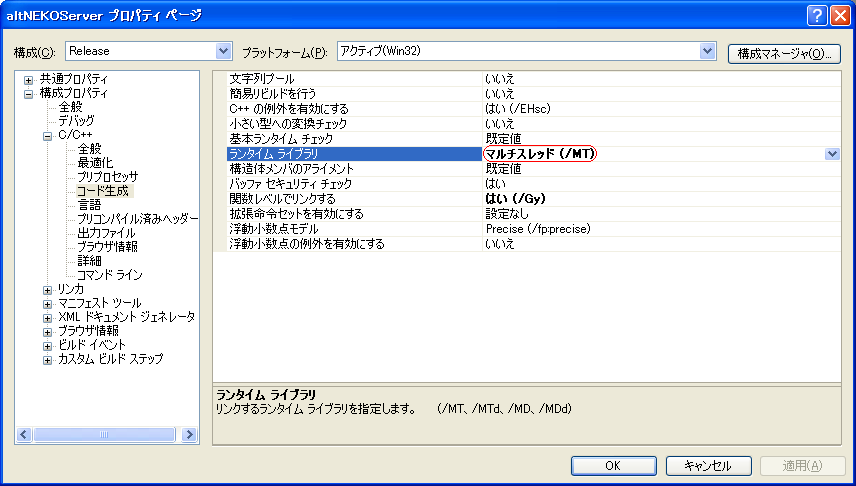
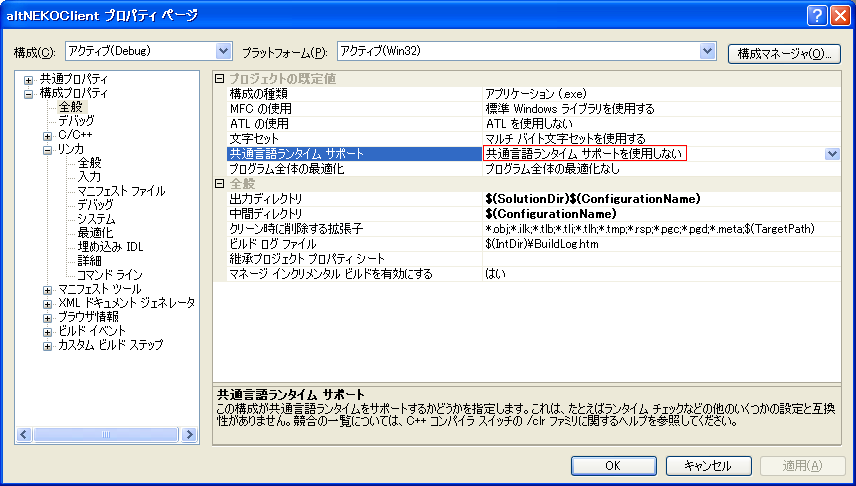


図 2　マルチスレッド(/MT)



「共通言語ランタイム サポート」は「共通言語ランタイム サポートを使用しない」に設定してください。

図 3　共通言語ランタイムサポート



# プリプロセッサの定義

プリプロセッサの定義を説明します。

## Static,DLL共通

Windowsの場合は普通に「WIN32」を定義してください。

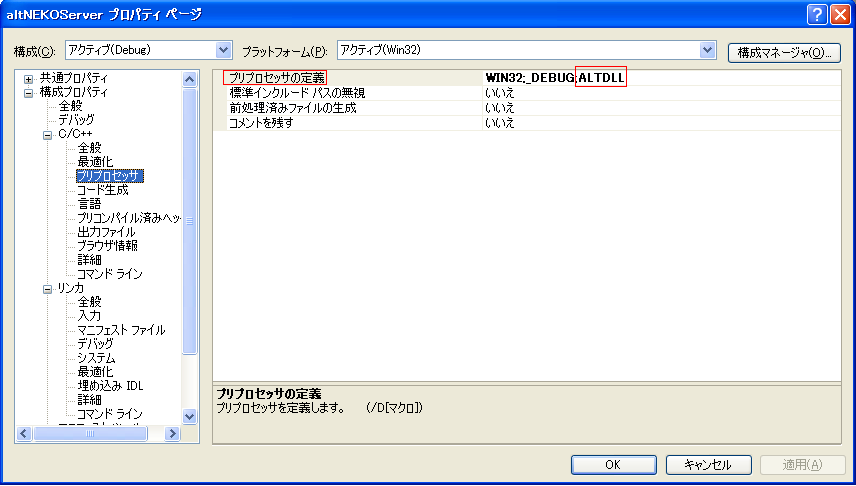
Linuxの場合は「WIN32」は定義しないでください。

その他は自由に定義して頂いて結構です。

## DLL

　「libaltMT.dll」を使用する場合の設定方法です。

図 4　DLLの使い方

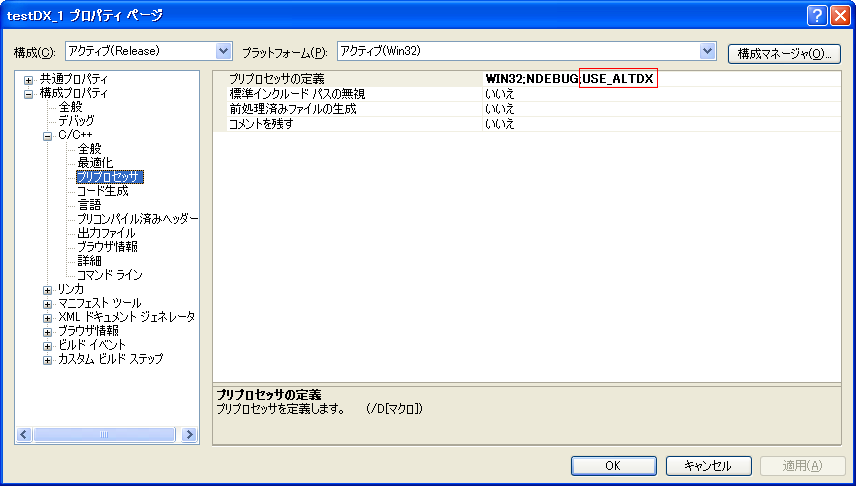
****

図のように「**ALTDLL**」を「プリプロセッサの定義」に追加してください。

## DirectX

　DirectXのコンポーネントを使用したい場合は「**USE\_ALTDX**」を「プリプロセッサの定義」に追加してください。

図 5　DirectXの設定

****

# サポート

　その他サポート連絡先は「[alt@ac.cyberhome.ne.jp](mailto:alt@ac.cyberhome.ne.jp)」です。

# ライブラリの使い方

## altBase

ほぼ全てのクラスはこのクラスを継承して構築されています。このクラスを継承した場合、「new」または「ALT\_NEW」でメモリを確保した場合、「altMemManager」クラスに登録されます。

　このクラスを「public」で継承するようにしてください。

## altMemManager

　メモリ管理クラスです。「aiMemManager」からどこからでもアクセスすることができます。